

2050年の日本のエネルギー計画の策定 ~自分事としてとらえる活動を 次世代につなげていくために~



愛媛県立新居浜工業高等学校 電気部



昨年度の活動から

結果

- ①学ぶことで様々な問題を知り、興味をもつようになる。
- ②興味をもつことで、自分事としてとらえられるようになる。

課題

- ①学びの場をどうするか。
- ②興味をもってもらうにはどうするか。
- ③情報発信をどうするか。



課題をどうするか①

- ①学びの場をどうするか
- ①見学会の実施
- ②学習会の実施
- ③授業



- ①見学会(発電所の見学、県外研究移設の見学)
- ②学習会(専門家による講義)
- ③授業(電力技術、実習、課題研究)



課題をどうするか②

- ②興味をもってもらうにはどうするか
- ①全員が2050年エネルギー計画の作成
- ②学年ごとに2050年エネルギー計画の決定



- ①2050年エネルギー計画の作成を通して、再学習をし、学び を深めることで興味をもってもらう。
- ②話し合いを通して、自分の考えを整理して発表したり、他 人の意見を聞いたりすることにより、自分事としてとらえ やすくする。



課題をどうするか③

- ③情報発信をどうするか
- ①電気科エネルギーサミットの開催
- ②サミット開催を学校のインスタグラムで発信



- ①エネルギーサミットを通して、後輩たちに広く受け継がれれば、10年、20年後には大きな広がりに。
 - 「広げる=つなげる」ということをポイントに。
- ②インスタグラムを通して、新たなつながりができれば。



学ぶ機会











エネルギー計画の作成、決定方法

- ①電気科1~3年の生徒全員が作成。
- ②学年で班別に分かれて話し合い。
- ③学年ごとに一つの計画に決定。
- ④電気科エネルギーサミットで各学年から提案したもの を話し合って一つに決定。



エネルギー計画の作成、学年での計画決定









電気科エネルギーサミットの開催



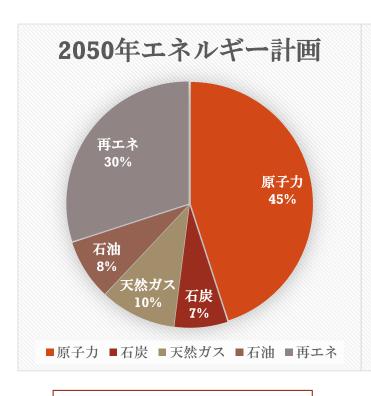


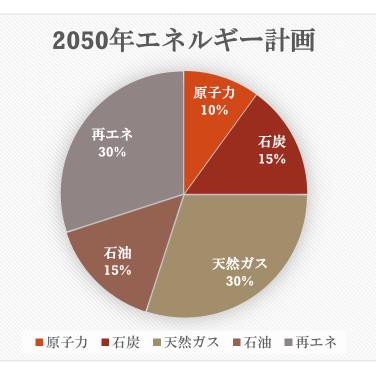


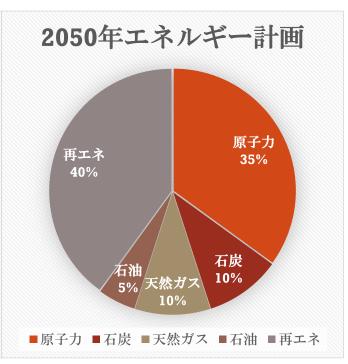




電気科1~3年のエネルギー計画







3年生計画

2年生計画

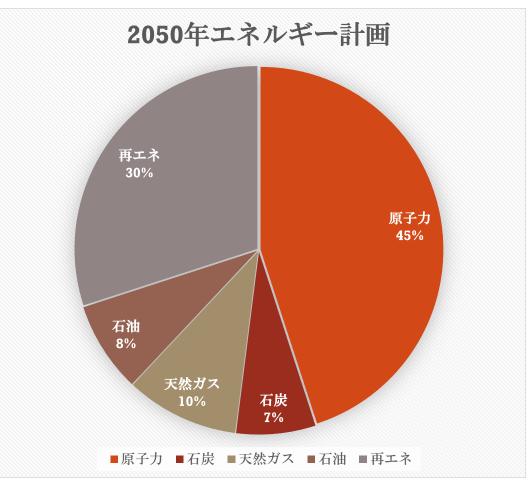
1年生計画



2050年のエネルギー計画決定









情報発信

Instagram

ログイン

niihama_tech_highsch





niihama_tech_highschool エネルギー サミットを開催しました!

電気科の1~3年生が作成した 「2050年エネルギー計画」の発表会 を行いました。

発電効率や持続可能性、環境への配慮 など、様々な観点から考えを深めるこ とができました。

実際に見学した発電施設を思い出しな がら、真剣に議論しています!

#愛媛県立新居浜工業高等学校 #新 居浜工業高校 #新居浜 #新工 #愛 媛県 #エネルギー計画

6日前



登録する

・フォロー・・・

いいね!41件



サミット後に意識調査①

①学年初めの状態と比べて、エネルギーに対する理解が 深まりましたか?

```
ア. 深まった・・・・ 90
```

イ. 変わらない・・・・ 3

ウ. 深まらなかった・・・ 0



サミット後に意識調査②

②見学会、学習会、エネルギー計画を考えたり、エネルギーサミットに参加することで、エネルギーに関する様々な問題に興味・関心がもてましたか?

```
ア. 関心がもてた・・・・・ 85
```

イ. どちらともいえない・・・・ 6

ウ. 関心はもてなかった・・・ 0

エ. 元から関心はもっている・・ 2



サミット後に意識調査③

③エネルギー計画を作成してみて、将来の自分たちに関 わることだと思いましたか?

```
ア. 思った・・・・ 93イ. 思わない・・・・ 0
```



サミット後に意識調査④

- ④③で選んだ理由を教えてください。 (複数回答)
 - ・将来生きていくうえでエネルギー問題は必ずあることだと思った。
 - 環境問題はこれから生きていくうえで関わると思う。
 - ・生活に直結しているから。
 - ・就職先が電力会社だから。
 - 2050年は近い将来だから。



研究を通しての成果

成果

- ①学びの場が大事。 見学会、学習会が有効
- ②自分で考え、話し合うことが大事。 エネルギー計画の作成が有効
- ③つながりが大事。 エネルギーサミットがつながりの場



研究を通しての課題

課題

- ①広がりの範囲をどうするか。 校内でのさらなる広がり 他校との交流
- ②サミットの内容をどうするか。 サミットの内容を充実



以上で発表を終わります 本日はありがとうございました。

参考文献等
エネルギー白書 2024
環境省ホームページ
経済産業省ホームページ
全国地球温暖化防止活動推進センター
エネ百科ホームページ
四国電力ホームページ
NUM0ホームページ
各見学会配布資料
学習会配布資料
電力技術 I







